



発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122

自衛隊の訓練に独断はないのか

電ヶ崎の民間機との接触墜落事故

21日電ヶ崎ニュータウン上空で民間機と接触墜落した自衛隊木更津駐屯地第一ヘリコプター団所属のヘリは、12機のCH47J型機(兵員・装備輸送用大型ヘリ)と編隊飛行訓練中、前方偵察のため先発していたものといえます。この訓練について、小型機を管理していた新中央航空では「自衛隊の訓練については、いままでもノータム(運輸省航空局が提供する航空機の飛行に影響を与える行為についての情報)に載っておらず、知らされていない」といいます。

ここに問題はないのか。13機の編隊が民間飛行場周辺を通過するのに何の連絡もないというのは自衛隊の横暴ではないのか?一定の気象条件下での有視界飛行ではパイロットの責任で自由に飛行できるといいますが、自衛隊の訓練日程は早くからわかっているはずだし、編隊飛行ということになれば、大きな影響を与える行為だから、航空局に通知して当然だと思うが、これは素人判断でしょうか。民間機が編隊飛行をする場合でも通知しなくてもすむことなのだろうか。自衛隊だけが自由勝手に空を独占しても良いということは、国民にとって理解できないことなので、もしも、従来それで通っていたのなら、早急に改善してもらいたいものです。

この事故を契機に、私たちの近辺でも霞ヶ浦駐屯地のヘリや百里基地のジェット機の市街地上空での訓練について、規制を強化する必要性を強く感じます。みなさんはどう考えますか。ご意見をお寄せください。(井上)

原水爆禁止97年世界大会・長崎に参加して

久松一伎

私にとって原水禁世界大会への参加は初めての経験です。今年の世界大会・長崎(7~9日)は、「核兵器のない21世紀を」をテーマに日本を含む16ヶ国、のべ1万1千人が参加して開かれました。参加する前からの分科会に参加したらよいかと悩みましたが、「神戸方式」というのが目につきました。「神戸方式」っていったいなんだろうと思い、「非核自治体づくり運動の前進を、非核神戸方式を全国」という分科会に参加することにしました。

1975年8月、神戸市議会は全会一致で「核積載艦の入港を拒否する」という決議を行いました。この決議を具体的に行うために非核証明書の提出をすべての国の軍艦の入港に際して義務づけたのです。それ以後アメリカの軍艦は1隻も入港していないと言う事です。この分科会は250名の参加がありました。広島の被爆者の方は「被爆者は原水禁大会があったからこそ生き続けられてきた。国際会議の中で被爆者へのやさしさと非核への取組みが、進んでいることを知った。」とのべていることを聞いて、原水禁大会、平和運動の大きさを強く感じました。神戸方式の地元兵庫県原水協の方の「神戸方式を全国の港に普及するたたかいをしよう」との発言を受けて、高知県からは「高知新港の開港と共に神戸方式を適用する事を決めた。橋本知事は、商港をつくるので非核港にしたいと約束をした」と報告があり、会場は大きな拍手がわきおこりました。各原水協自治体の議員から「非核都市宣言をするだけではなく平和条例をつくらせ、平和予算をつけさせるたたかいをすべしだ」「夏だけの反核運動ではなく常時続けていこう」との発言は一つひとつ胸におち、これからのたたかいの方向を示してくれるものばかりでした。

「東京都でアピール署名過半数達成」開会総会の舞台は東京都の参加者と横断幕であふれんばかりになりました。その隣で龍ヶ崎のアピール過半数達成のたれ幕が、小さくとも堂々と舞台に立ちました。昨年12月には国連で核兵器廃絶の交渉を直ちに始めることを求める決議が採択されたように、いま「核兵器のない21世紀を」という声の世界中に広がっています。アピール署名の普及をはじめ、創意あふれる運動を土浦でも進めていかなければと、強く思いながら帰ってきました。最後になりましたが、参加のためにカンパをお寄せくださった皆さん、本当にありがとうございました。

行事ごよみ

- | | | | |
|-------|---|--------|--|
| 9月10日 | コープ平和グループ基地見学土浦・阿見
(10月9日の計画を変更しました) | 9月27日 | 「愛の黙示録」日韓合同製作映画
つくば市・ノバホール(昼・夜2回上映) |
| 9月16日 | 県平和委理事会 | 訂正 | NO.49でワークヒルと書いたのは試写
会の間違いでした。 |
| 9月14日 | 「硝子の真実」土浦市民会館14:00
(茗溪学園PEACE WAVE創作劇)入場無料 | 11月16日 | いばらき平和まつり(百里平和公園) |
| 9月26日 | ガイドライン学習会・原水禁大会報告
(土浦・1中地区公民館予定) | | |